



じめじめしてすっきりしない天気が続いていますが、こんな時には
小説や雑学本など読んでリフレッシュしてみてくださいね。
1学期も残りわずかですので、体調を崩さないように気をつけてください。

課題図書が入りました！！

「ノクツドウライオウ：靴ノ往来堂」、「希望のひとしずく」、

「アフリカで、バックの会社はじめました」の3冊です。

* 課題図書の3冊は貸出できるので、司書に声をかけてくださいね。

7月以降の開館・休館等について

☆6月21日(金)～7月3日(水)、7月16日(火)～18日(木)

の期間は図書館で新着本・雑誌を読むことができます。

* 本の貸出や作業中の本は読むことはできません。

* 閲覧できる期間は短いですが、新着本等を読みに来てくださいね。

☆夏休み前の特別貸出はありませんが、2学期からは通常通り、本の貸出をするのでまた借りに来てくださいね。

開館や休館の予定変更がある場合は、図書館前に貼りだします。

課題図書

ノクツドウライオウ：靴ノ往来堂 佐藤まどか

祖父が営む老舗のオーダーメイドの靴店「靴の往来堂」の5代目候補である兄が、突然家を出ていってしまった。さらに、土地開発会社から買収の話がでていて、店は危機的状況となっていた。

夏希は、祖父の影響でシューズデザイナーを目指していたが、靴職人になって店を継ぐか日々悩み過ごしていると、クラスのイヤミな男子、佐野宗太が、突然店にきて靴職人の見習いになりたいと言い出して、、、。

将来に不安や悩みを持ちながらも、自分の進んでいく道を見つけていく青春物語です。



希望のひとしずく キース・カラブレーゼ 著 代田亜香子 訳

オハイオ州にある小さな町、クリフ・ドネリーには、願い事を叶えてくれる井戸がある。

ある日、中学1年生のライアンは、クラスメイトのアーネストと幼なじみのリジーと一緒に、願いを叶えてくれる“トンプキンス井戸”の底に偶然行き着き、さまざまな人の願いごとを聞いてしまう。そして、アーネストの亡くなった祖父が屋根裏部屋に遺した物たちが、その願いを叶え奇跡を起こしていることに気づいたアーネストたちだったが、、、。

悩みや不安などいろいろな問題を抱えた人たちに奇跡が起きる優しい物語です。

アフリカで、バッグの会社ははじめました：寄り道多め、仲本千津の進んできた道 江口絵理

仲本千津さんは幼い頃からの、“人の命を救う仕事がしたい”という夢のため、最初は国境なき医師団、次に国連職員を目指すが大失敗、研究員を経て、銀行員として社会人生活を始めた。だが、東日本大震災をきっかけに、後悔しない人生を送るため銀行員をやめて、アフリカにたずさわる仕事を探すが、、、。

目標への道につまずいてもあきらめず、違う方法でアプローチをすることで夢をかなえていった、仲本千津さんのドキュメンタリーです。



新着本

すべての恋が終わるとしても 140字の忘れられない恋	冬野 夜空	人気シリーズ
エリート	三月 みどり	グッバイ宣言シリーズ
TAMAYA	三月 みどり	グッバイ宣言シリーズ
ショットガン・ナウル	三月 みどり	グッバイ宣言シリーズ

雑誌

・日経エンタテインメント 2024 7月号 ・アニメディア 2024 7月号
*新着本・雑誌の貸出できませんが、閲覧はできるので図書館に来てくださいね。